

## 支柱の打ち込み方に関する注意事項

1. 土中深く、十二分に打ち込むこと
2. 特に軟弱な土壌の場合は、下図Aのように効くまで打ち込むこと
3. 軟弱でなくとも、下図Aのように土中深く打ち込むこと
4. 下図Bのように、ツリーシェルター上部先端まで打ち込んで、十分打ち込んだとは言えない。下図Aの位置まで打つのが理想
5. 下図Cは、支柱の打ち込みが不十分な例である。  
支柱の打ち込みが浅いため、下図A、Bに比べ、ツリーシェルターを支える効果が薄く、風・雪による倒伏の可能性が高い。

ツリーシェルター設置図

